



船橋市議会議員（市民民主連合）



う ら た ひ で お

# 浦田秀夫通信

143号（通算177号）  
（2023年冬季）

自宅 船橋市松が丘 3-49-2-207 TEL・FAX 047-466-6019  
事務所 船橋市高根台 6-38-9 携帯 080-1074-4455  
メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ・FB 浦田秀夫で検索

## ヤングケアラーへの支援を

令和4年度第4回定例市議会の一般質問では、ヤングケアラーの実態調査と支援策、オミクロン対応ワクチンの年内接種の加速化、人間ドッグ助成制度の拡充などについて質問しました。また、市長から提案された出産・子育て応援金（10万円）支給の補正予算などが可決されました。

### 調査結果、国・県との違いの要因

ヤングケアラーの実態調査で、本市の調査と厚労省、千葉県に比べ、世話をしている家族の有無について「いる」と回答した割合が低い数字となっているが、これは調査対象、方法などに違いがあるのか。またどちらの調査が、より現状を反映しているのか質問しました。

市は、調査に多少の違いがあるが、世話をしている家族が「いる」と答えた割合が国・県と比べ低い要因についてはわからない。

県や国の結果を否定するものではないが、本市の調査結果が本市の実態を反映していると考えている。数値が低いことで支援の必要がないとは考えておらず、必要な支援策、支援体制の構築を図っていきたくと答弁しました。

### 学校現場での対応について

学校におけるヤングケアラーと思われる子どもの把握や対応について、具体的な事例について質問しました。

市は、教職員が日常の中で児童生徒との会話や観察、定期的な教育相談をとおして、児童生徒の悩み事や学校内外の生活環境の変化について早期発見に努めている。

具体的な事例として、教職員が児童生徒の家

### ヤングケアラーの実態調査

世話をしている家族の有無について「いる」と回答した割合

	国の調査	県の調査	市の調査
小学生	6,5%	14,6%	6,7%
中学生	5,7%	13,6%	2,9%
高校生	4,1%	10,5%	2,2%

### ヤングケアラーとは

「家族にケアを必要とする人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行なっている18歳未満の子ども



庭環境や生活様式などを憂慮し、スクールソーシャルワーカーにつなげたケースや、不登校児童生徒の支援にあっていたスクールソーシャルワーカーがヤングケアラーと思われる児童生徒に気づき、家庭への支援に至ったケースなどがあると答弁しました。

### 要保護児童対策協議会の取組み

市の要保護児童及びDV対策地域協議会での対応についても質問しました。

市は、協議会において把握している児童の中

には客観的に見て、ヤングケアラーと考えられる児童がいることは承知している。

両親が精神疾患を患っている家庭、障害児を抱える家庭、多子世帯である家庭などで十分な家事ができないことで、状況的にネグレクト（子どもへの「育児放棄」）となっている場合には、学校との見守りや障害福祉サービス、学習支援事業につなげていると答弁しました。

## 具体的な支援策の検討は

市は、今回の実態調査を踏まえ子どもやその家族への必要な支援策や支援体制の構築等を検討するとしていますが、具体的に検討している内容について質問しました。

市は、家庭内の家事を担うことは素晴らしいことだが、その負担が重すぎることで子どもとしての生活に支障が出てしまうことに、ヤングケアラーの問題があると考えている。

家族のことだから誰かに相談することではないと回答した子どもが多くいたことや、まだヤングケアラーの認知度が低いといった結果を踏まえて、令和5年度に向けて支援策等の検討を進めているとの答弁に止まりました。

最後に、国・県・市の実態調査、学校現場や要保護児童対策協議会での取り組みなどを踏まえた支援策を検討することを要望しました。

## 人間ドックの助成制度の拡充を

市の人間ドック助成額は13,000円で、受診料のほぼ3分の1ですが、県内各自治体の補助額は受診料の5割から7割がほとんどです。

市の助成額を他自治体並みに、とりあえず受診料の5割、2万円程度に増額する考えはないか質問しました。

市は、対象者の約半数が無料の特定健診等を受診していることから、被保険者間の平等を考慮し、助成額は特定健診相当分としている。現時点では助成額の見直しをすることは考えていないと答弁しました。

人間ドック制度の拡充については引き続き取り組んでいきます。

## オミクロン対応ワクチン 年内接種へ加速化を

オミクロン対応ワクチンは、初回接種した12才以上の全ての人を対象で、528,000人を年内接種するための補正予算



が第3回定例会で可決されましたが、11月28日時点で本市の接種率は15.7%です。

第8波がピークを迎える前に、年内に接種を完了するためには、市内3箇所の集団接種会場や接種枠を大幅に増やすなど抜本的な対策が必要ではないかと質問しました。

市は、集団接種会場の開設時間の延長により年内の予約枠の拡大を図ってきたが、今後、拡大した予約枠が全て埋まってしまう状況も考えられるので、過去に集団接種会場で使用した市の施設の活用や既存の接種体制をさらに見直すことで、予約枠の拡大を図ることが可能かどうか検討しているところ。個別接種についても協力医療機関に対し、12月の予約枠の拡大に向け協力を依頼していくなどと答弁しました。

質問後の12月15日に集団接種会場や開設時間、日程の追加などが発表されました。

## 出産・子育て応援に10万円支給

国の第2次補正予算で、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が喫緊の課題として出産・子育て応援交付金が創設されました。

経済的支援と伴走型相談支援を一体的に実施するもので、経済的支援は妊娠届時及び出生届後に各5万円が支給されます。事業は令和5年2月から実施されますが、令和4年4月以降に生まれた子どもに遡って支給されます。

伴走型相談支援は、妊娠中や育児の様々な不安や悩みに寄り添いながら相談に応じ、必要な支援につなげるものです。本市でこの事業を実施するための補正予算が可決されました。

# 命とくらしの安心を創る

4月に行われる市議会選挙に向けて「命とくらしの安心を創る」政策を発表します。また私の32年間の議員活動の実績を報告します。皆様のご意見やご提言をお待ちしています。

## 1、子育て支援の拡充

子どもの出生率の低下が止まりません。子育て支援の拡充は最優先課題です。

- ① 高校3年生までの医療費の無料化を実現します。
- ② 全ての子どもたちを対象に学校給食の完全無料化を実現します。
- ③ 経済的な理由により就学が困難な家庭に対する就学援助制度を拡充します。
- ④ 虐待から子どもの命を守るために児童相談所の設置と体制の拡充を図ります。
- ⑤ ヤングケアラーへの支援を強化します。



## 2、医療・介護の充実

高齢化も顕著に進んでいます。高齢者の皆さんが安心して暮らせるようにします。

- ① 医療・介護・住まい・生活支援を一体とした地域包括ケアシステムを構築します。
- ② 病気の早期発見・早期治療に資する人間ドック・脳ドック助成制度を拡充します。
- ③ 国民健康保険や高齢者医療保険、介護保険の保険料引き上げを抑え減免制度を拡充します。
- ④ 救急・高度医療の拡充のため老朽化した医療センターの建替えを推進します。

## 3、災害対策の強化

大震災や大型台風、豪雨から市民のいのち財産を守ります

- ① 全ての学校・公民館などの避難所に太陽光発電・蓄電設備を整備します。
- ② 避難所や公園などにマンホールトイレを整備します。
- ③ 海老川調節池の暫定掘削や河床掘削を推進し洪水の危険性を低減します。

## 4、新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症から市民の命・健康を守ります。

- ① ワクチン接種の加速化を図ります。
- ② 病床の確保・検査体制を強化します。
- ③ 保健所の職員の体制を強化します。
- ④ 生活支援・事業者支援を拡充します。

## 5、地球温暖化対策の推進

地球温暖化対策を強め2050年までゼロカーボンシティを実現します。

- ① 太陽光発電設備導入支援を拡充し、ガソリン車の電気自動車への買い替え助成を拡充します。
- ② 下水道汚泥や食品廃棄物などを活用したバイオマス発電を推進します。
- ③ プラスチックゴミや使用済み紙おむつの分別収集と再資源化を図ります。

## 財源の確保

- ① 子育て支援の拡充は未来への投資です。出生率が回復すれば経済が成長し、納税者も増え税収も増えます。
- ② 医療・介護の充実は、高齢者の健康寿命を伸ばし、医療や介護の費用を抑えます。
- ③ 行政・財政の無駄を省き、財源の効率的な活用を図ります。
- ④ 令和3年度末で244億4,100万円と過去最高レベルになった財政調整基金（市の預金）の有効活用を図ります。
- ⑤ 国に対し交付税や補助金の増額を求めます。



# 私の 32 年間の主な実績

## 中学校給食の実現 (平成 5 年)

船橋方式と言われている  
自校調理、メニュー選択、  
ランチルーム方式を提案  
し実現しました。



## 学童保育の公設公営化の実現 (平成 11 年)

父母会が運営していた劣悪な学童保育の実態  
を何度も取り上げ、「放課後ルーム」として  
公設公営化を実現しました。

## 絶対高さ制限制度の実現 (平成 22 年)

市内各地のマンション紛争を住民と闘い、高  
層マンション建設を規制する「絶対高さ制限  
制度」を提言し実現しました。

## 子ども医療費の助成拡大 (平成 25 年)

市民から委託された 1450 名の署名を議会  
に提出し、議会でも度々取り上げ中学 3 年  
生まで実現しました。

## 学習支援の実現 (平成 26 年)

貧困の連鎖を断ち切るために、ひとり親世帯  
や生活保護世帯など学習環境に恵まれない子  
どもたちへの学習支援の必要性を訴え実現し  
ました。

## 校舎の耐震改修の実現 (平成 27 年)

平成 19 年度、県内最低  
レベルであった学校校舎  
の耐震化の実態を指摘し  
その後も議会で取り上げ  
平成 27 年度までに総工費 243 億円をかけ  
て耐震改修を実現しました。



## 人間ドッグ・脳ドック助成制度の実現

市民の健康を守るために人間ドッグ・脳ドッ  
ク助成制度を提案し、人間ドッグは助成額  
13,000 円で平成 28 年に、脳ドックは 40  
歳以上 5 年毎、助成額 10,000 円で平成 30  
年度に実現しました。

## 福祉タクシー券対象を拡大 (平成 29 年)

市民からの要望を受け、福祉タクシー券の利  
用対象者を在宅の方だけではなく、入院や施  
設入所者の方にも拡大しました。

## 木戸川の水害対策 (平成 30 年度)

台風やゲリラ豪雨で発生した木戸川の水害に  
ついて取り上げ、流域の雨水管整備と河川改  
修促進を求め実現しました。

## 地域防災計画の見直し (令和 2 年)

令和元年の台風 15 号、19 号の経験を教訓に  
地域防災計画の見直しを提言し、対策本部の  
設置基準、電源供給体制の整備など計画の見  
直しを実現しました。

## 学校トイレの洋式化の実現 (令和 3 年)

平成 28 年度の学校トイレ  
洋式化率は 30.2%で県内  
54 自治体中 51 位である  
ことを指摘し、学校トイレ  
の洋式化の加速化を求め実現しました。



## 新型コロナウイルス対策で提言

(令和 2 年～令和 4 年)

緊急要望書の提出や議会での質問で、検査体  
制の強化、医療体制の拡充、生活支援・事業  
者支援、ワクチン接種の加速化、高齢者施  
設・学校現場での対応などについて提言。  
集団接種会場を習志野台出張所や船橋アリー  
ナーに設置することを求め実現しました。

## 地球温暖化対策実行計画見直し (令和 4 年)

2050 年のゼロカーボン  
シティの実現を目指し、  
市の地球温暖化対策実行  
計画の見直しと施策の追  
加・拡充を提言し実現しました。



## 浦田秀夫のプロフィール

1950 年 4 月生まれ、千葉県安房郡鋸南町出身  
県立館山高校電気科卒業  
元 NTT (旧電電公社) 社員  
市議会議員 8 期 農業委員会委員 都市計画審  
議会委員 副議長などを歴任  
現在 立憲民主党県連合自治体議員団会議議長  
立憲民主党千葉県 4 区総支部市議団長  
船橋市社会福祉審議会委員  
趣味 囲碁 将棋 読書